

第3回徳島市立中学校制服のあり方検討委員会 議事録（概要）

日時 令和6年12月24日（火）10時00分～11時15分

場所 徳島市役所13階 第2研修室

◆ 議 事

（1）標準制服の基本デザインについて（資料2）

※資料2については、企業の機密情報が含まれるため議事録を省略。

（2）今後の進め方について（資料3）

（委員）

1月に各校の意向確認とあるが、保護者やいろんな方にも意見を聞く必要があるので、今の段階で確定するのではなく、導入の可能性があるかという聞き方がよいのでは。

（委員）

市内の中学校のうち1校については既にブレザーの制服であり、その学校の校長先生から、全部の学校が標準制服に変えないといけないのかとの相談があった。それ以外の学校が導入するかどうかについては、先日大きく標準制服についての記事が新聞に掲載されたので、保護者の間では導入するのかなという話になっていると思う。

（委員）

デザインもまだよくわからない段階で、1月に導入意向を決定というのは難しいのではないかと。せっかくこれだけいい取り組みであるのに、かえって誤解を招いてしまうと残念なので、導入する学校のみではなく、導入する可能性がある学校は全て、その後のデザイン決定等に参加できるほうが良いのではないかと。

（委員長）

新聞の第一面に掲載された記事について、「今月3日、メーカー選定のための公募型プロポーザルを実施。参加した4社から徳島菅公学生服（徳島市）を選んだ。今後デザインの提案を受け、生徒の意見を反映させるなどして来年9月の決定を目指す。各校が定める制服は残し、標準制服を選択肢の一つとして加える方針で、実際に採用するかどうかは各校の判断に委ねる見通し。教育委員会は『自分の希望に合った制服を選び、着用することができるよう、学校長に対し標準制服のメリットについて説明

を尽くす』とし、これからもしっかりと説明を補足していきながら協力していきたい。

続いて、標準制服への生徒意見の反映方法について、事務局から説明のあったとおり進めるのでよいか。

(事務局)

本日欠席の委員より、生徒意見の集約対象について、中学校だけでなく小学校5年生・6年生も対象としてはどうかという意見が出ている。その点についても委員の意見を頂戴できればと考えている。

(委員)

一番制服を着る可能性が高い子供たちの声を聞くことは、すごく大事なことだと思う。

(委員)

小学校5・6年生になると、制服への興味関心も高いように思うので、参考として聞いておいて悪いことはないと思う。

(サポートメーカー)

学校1校が単体で制服を変える場合も、小学生に声をかけると、相当数の意見がくる。特に女子生徒の興味関心が圧倒的に高い。

(副委員長)

スマートフォンやタブレット等でQRコードを読み取って実施するのか。

(サポートメーカー)

その予定である。やり方はいろいろあると思うが、先ほどの事務局の説明の中で中学校は朝会等の時間を使って実施とのことだったが、例えば小学校であれば、紙で配布して、興味があったら参加してもらう方法もある。家庭で保護者と一緒にやってもらいたいと考えていて、QRコードを読み取り、YouTube等の動画で見てもらって、家族で意見を言いながら回答できるのが一番いいと思っている。

(委員)

QRコードを配布するということは、ひょっとしたら徳島市外の人たちが見てしまう可能性があるが、それは問題ないのか。機密性の高い内容なのか。

(サポートメーカー)

私たちとしては、特段問題ではない。だが、途中経過の情報が流出してしまうことに問題があるのであれば、動画は学校のモニター等で視聴してもらい、アンケートだけをQRコードで読み取って実施することも対応可能である。

(委員)

アンケートについて、名前は匿名で大丈夫だが、学校名は入力してもらうようにするのは可能か。

(サポートメーカー)

可能である。学校名だけでなく学年や、必要であれば性別を入力してもらうことも対応可能である。

(サポートメーカー)

資料3の検討スケジュールについて、1月の第4回検討委員会で、「生徒意見の集約方法について（商品説明動画の確認）」とあるが、この動画の内容に関しては、デザイン紹介でよいのか。それとも素材なども紹介するのか。

(事務局)

事務局の考えとしては、提案のあった制服について、例えばジェンダーレスや機能性、着心地といったコンセプトを動画で説明してもらいたいと思っている。デザインの詳細に関しては、その後の総選挙で選択してもらうことになるので、今回は制服の機能としてさらに追加してほしい点等について生徒の意見を集約し、基本デザインに反映したいと考えている。

— 終 了 —